

■開設年度		■開講部局	
2012		共通教育	
■科目名			
人間力経営			
■英語科目名			
Management of Human being capacity			
■前後期		■開講区分	
後期		毎週	
■科目形態		講義	
■単位数		■大分類（科目）	
2		教養科目	
■中分類（分野）		分野1	
■受講学部学科			
全			
■担当教員		■担当教員所属	
神田嘉延		稲盛アカデミー	
■連絡先（TEL）		■連絡先（MAIL）	
099-285-3755		k6820452@kadai.jp	
■オフィスアワー（授業時間外の対応）			
水曜日の10時30分から12時まで神田研究室			
■共同担当教員			
■キーワード1		■キーワード2	
視野・判断力・探求能力			
■授業概要（目的・内容・方法）			
人間力経営を考えていくうえでの前提になる人間力ということを思想的に問題提起する。人間力とは、人間らしく生きるための諸能力である。ここでは人間の本質を考えるために生きるための諸能力を十分に発揮するための経営のあり方を考えていくものである。人間力経営論の日本的経営論と稲盛和夫の人間論、アメイバー経営論を論じる。現実の盛和塾、中小企業家同友会の実践を紹介しながら人間論と人生論についてじっくりと考える授業を展開する。稲盛和夫のアメイバー経営や盛和塾・中小企業同友会の共育事業のとりくみを日本的経営から位置づけていくために日本の経営思想の概略を話しながら人間力経営論を総括する。			
■学習目標			
稲盛アカデミーの人間力を学ぶ授業の核となる重点科目のひとつで、稲盛和夫の人間力経営論を軸に、大学と企業の連携の授業を考えていく基本的な視点を提供して、学生とともに、個々の人生と働くこと、企業のあり方を考えていくことを授業の基本目標とする。学生の進路選択における基礎的知識と人生設計における働くことを企業の人間力経営のなかで考えていく素材を提供することを学修目標とする。学生には授業をとおして具体的に、稲盛和夫の人間力経営の実践をとおして、企業における人間力経営の考え方の理解、学生自身の企業に対する見方を人間力経営から整理してもらう、人間力経営の実態にたいする理解を学修目標とする。			
■授業計画（15回に分け、回数、授業内容、自学自習等）			
1. 授業のねらい 2-4. 稲盛和夫のリーダー論 5-9. 稲盛和夫のアメイバー経営論 10-12. 盛和塾・中小企業同友会の共育事業のとりくみ事例分析 12-15. 日本的経営思想と稲盛和夫の位置づけ			
■受講要件		■成績の評価基準	
なし		授業中の学生の個々の発言20%、報告20%、小レポート60%	
■教科書		■参考書	
なし		稲盛和夫「アメイバー経営」日本経済新聞、神田 嘉延「アメイバー経営と産業民主主義」稲盛アカデミー紀要1号、赤石義博「人間力経営」鉾脈社	
■その他			